

バス利便化策の施策項目について

・短期 ⇒ 需要喚起のための早期に取り組む施策
 ・中期 ⇒ 課題を解決しながら取り組む中期的施策
 ・長期 ⇒ 長期的施策と考えられる公共交通ネットワーク構築

●: バス委員会で検討する施策
 【新たなバスシステムに係る施策と利便化策】

施策項目	具体的施策	短・中・長期			バス委員会	戦略協議会		
		短期	中期	長期				
Ⅰ. 幹線バス路線、準幹線バス路線の整備 ・幹線及び準幹線バス路線にバス優先施策の導入を図る。	① 走行環境の整備	(1)バス優先レーン拡充	○		▶		○	
		(2)公共車両優先システムの導入(PTPS)	○		▶		○	
		(3)歩車分離信号	○	▶			○	
		(4)JR宇都宮駅西口ターミナルへの提案(横断歩道・一般車乗入対策)	○		▶	●	○	
	② 基幹バス・BRT(連節バス)の導入	(1)走行環境の整備(専用レーン・PTPS等)			○	●		
		(2)BRT(連節バス)の導入			○	●		
(3)情報提供に関する施策(バスロケ・車内情報システム等)				○	●			
Ⅱ. TDM施策の実施	① P&BR	(1)P&BR駐車場の整備	○		▶	●	○	
	② C&BR	(1)C&BR駐輪場の整備	○		▶	●	○	
	③ シャトルバス	(1)シャトルバスの運行	○		▶		○	
Ⅲ. バスネットワーク化	① 路線にメリハリをつける	(1)基幹バス(連節バス)+支線バス+コミュニティ系(循環バス+乗合タクシー)			○	●		
		② 交通結節点(トランジットセンター)の整備 【基幹バスの乗り換え抵抗の低減】	(1)乗り継ぎに便利なダイヤの調整			○	●	
			(2)乗り継ぎバス停位置の最適化(近接)			○	●	
	(3)乗り継ぎ割引制度の導入				○	●		
	③ 鉄道との連携強化	(1)乗り継ぎに便利なダイヤの調整	○		▶		○	
		④ 経営的視点	(1)効率的な運行体系	○		▶	●	○
	(2)需要に見合った規模のバス導入		○		▶	●	○	
	Ⅳ. 公共交通活性化施策	① バス活性化施策	(1)目的及びニーズに応じた直通バス	○			●	○
(2)都心循環バス			○				○	
(3)深夜バス			○			●	○	
(4)レイニーバス			○			●	○	
(5)車内空間の創造(荷物置き場・ベビーカー・座席空間の改善等)				○		●	○	
(6)IT化(ICカード)			○	▶			○	
(7)乗降時間短縮化(後乗り前降り)				○			○	
(8)ハイグレードバス停(上屋、ベンチ等の設置)			○		▶		○	
(9)バス停の統合化			○		▶		○	
② バリアフリーに対する施策		(1)低床化車両の推進	○		▶		○	
		③ 都心交通円滑化施策	(1)フリンジパーキング			○	●	○
(2)セミトランジットモール(大通り)					○	●	○	
④ 情報提供に関する施策		(1)バスロケーションシステム		○			○	
		(2)インフォメーション改善	○				○	
		(3)車内情報システム(乗換案内・所要時間・地域情報)			○	●		
		(4)MOCS(車両運行管理システム(所要時間表示・バス接近表示))			○	●		
⑤ 環境への配慮		(1)低公害車導入(ハイブリッド車両・CNG車)	○		▶		○	
		(2)バス専用、優先レーン(定時走行による環境負荷の低減)	○		▶		○	
⑥ 需要喚起策		(1)公共交通利用の意識啓発(MM)	○		▶		○	
		(2)バス・鉄道利用デーの推進	○		▶		○	
		(3)新規路線の開拓(需要が見込めるエリアへの導入)	○		▶		○	
Ⅴ. ニーズ情報		① ニーズの把握				●	○	